

事務事業評価シート

(H.28)No.	4354	(H.27)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	団体営ため池等整備事業(新田6期地区)		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	吉岡 昌行	

会計区分	事業コード	323504
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 農林水産業費	団体営ため池等整備事業	
項 農業費	(小事業名)	
目 農業基盤整備費	新田6期地区	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本施策	3 新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1 農村環境整備
	小施策	5 計画的な集落環境整備
重点施策コード		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
農用地、農業用施設への被害の未然防止と受益地への用水量の安定確保による生産性の向上、維持管理費の節減を図る。
事業内容
用水の安定供給を目的に、防災減災事業として新田用水路を改修するものである。 事業主体:名張市 <事業内容>水路工(パイプラインφ700)L=800m <全体事業費>155,000千円 <負担割合>国55%・県15%・市15%・地元15% ※H28事業計画の策定については国100%補助

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画		事業計画策定 委託料:5,010千円

H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
事業量:L=150m 事業費:30,000千円	事業量:L=150m 事業費:30,000千円	事業量:L=150m 事業費:30,000千円

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費		5,010千円	30,000千円	30,000千円	30,000千円
内訳(千円)		5,000	21,000	21,000	21,000
国・県支出金			4,500	4,500	4,500
地方債			4,500	4,500	4,500
その他()			0	0	0
一般財源	(0)	10	0	0	0
人工数		0.08人	0.26人	0.26人	0.26人
職員		0.01人	0.10人	0.10人	0.10人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 0千円	625千円	2,146千円	2,146千円	2,146千円
①+②総事業費	(0千円) 0千円	5,635千円	32,146千円	32,146千円	32,146千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
H28年度事業計画策定を行うため、整備区間の調査及び概算事業費の算出を行い地元関係者との協議を行った。	H29年度事業採択に向けH28年度に事業計画を策定する。今後の新田6期地区の進め方を地元関係者と協議を行い早急に改修を行う。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	地元農業の基幹施設でもあり、歴史的資産価値も有する新田水路を改修計画をすることにより農村環境整備や地域活動の推進に貢献できた。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	日常的な維持管理を地元水利組合が行っており、連携が図られている。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
--	--------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由
当該水路は、江戸時代に築造された土水路であり、台風時等には水路の漏水が多発し隣道路や農地に被害を及ぼしている。よって、被害の未然防止と受益地への用水の安定確保による生産性の向上、維持管理に伴う受益農家の負担軽減の観点から早急な改修が必要である。

6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
